【　第１６回中標津町まちづくり町民会議報告　】

日時：令和３年８月３１日（火）１９：００～２０：００
場所：中標津町役場３階３０１号会議室
出席者：１７名（中標津まちづくり町民会議委員１２名、
　　コンサルタント１名（㈱ぎょうせい）（Zoom 会議により）、事務局４名）
傍聴者：なし

＜会議次第＞

１　開　会
２　会長挨拶
３　議　題
　（１）パブリックコメント結果について
　（２）第７期中標津町総合計画の基本構想（最終案）と
　　前期基本計画（最終案）について
　（３）今後のスケジュールについて
　（４）その他
４　閉　会

［会長挨拶］

＜配布資料＞

・資料１　パブリックコメント結果について
・資料２　第７期中標津町総合計画基本構想（最終案）
・資料３　第７期中標津町総合計画前期基本計画（最終案）
・資料４　今後のスケジュールについて

＜会議結果報告＞

１　開　会

２　会長挨拶

［会議風景］

３　議　題
（１）パブリックコメント結果について
　※企画課　伊與部係長より、資料に基づき説明（資料１）
　※意見等については、下記のとおり。

委　員：「まちづくり総合計画」の方が、つながっているイメージや人に寄り添っているイメージを感じる。

委　員：略称として「総合計画」として良いと思うが、正式名称として「まちづくり総合計画」が良いのではないかと思う。

委　員：柔らかい表現になり、「まちづくり総合計画」が良いと思う。

委　員：議会からは「まちづくり」というとハード面を感じるという意見があったようだが、個人的には、人を感じると思う。漢字ならばハード面をイメージするとは思うが、ひらがなならば人を感じる言葉だと思う。

委　員：現計画は「総合発展計画」として、町の進むべき目標としてタイトルがあったと思うが、その「発展」を取った形での第７期のタイトルとなっている。基本理念にもまちづくりという言葉があり、そういった意味でも「まちづくり」を入れた方が良いと思う。また、名称だけを見たときに何のための計画なのかをわかりやすくするためにも入れた方が良いと思う。

委　員：計画の中身を見ても、難しくてなかなか読まない人もいると思う。少しでも興味を誘うようなイメージで、「まちづくり」を入れた方が良いと思う。

委　員：この町民会議自体にも「まちづくり」という言葉が入っており、その点でも計画名称に入っていても良いと思う。他市町村の計画名称にも「まちづくり」が入っており、違和感はないと感じる。

委　員：「まちづくり」が入った方が馴染みやすいと思う。

委　員：町民の方が見て、優しい・親しみやすいと捉えられた方が良いのかと思う。

委　員：言葉にもバリアフリーが大切だと思う。

委　員：どちらでも良いと思う。

委　員：大事なのは中身なので、どちらになっても問題はない。

委　員：様々なご意見が出て、親しみやすいなどということで「まちづくり」を入れた方が良いのではないかと思う。

事務局：「まちづくり総合計画」の方が親しみやすく、手に取ってもらえるといった意見を審議会に伝えた上で、審議いただくこととしたいと思う。

（２）第７期中標津町総合計画の基本構想（最終案）と前期基本計画（最終案）について

※企画課　伊與部係長より、資料に基づき説明（資料２・３）

※意見等なし。

（３）今後のスケジュールについて

※企画課　伊與部係長より、資料に基づき説明（資料４）

※意見等なし。

（4）その他

※各委員より一言いただき、事務局よりお礼の言葉を述べた。

4　閉　会

・9 月 1 日（水）に開催される中標津町総合発展計画審議会を終えた後、答申が行われ、その後、議案提出を迎える。

・本日の会議をもって、町民会議での役割がすべて終了した。ありがとうございました。